



地球にやさしい! おひさまプロジェクト

2019年1月30日 安朱保育園におひさま発電所ができました!



ごあいさつ



昭和44年(1969年)4月に「安朱保育園」は開園しました。それから多くの地域の皆様にご支援・ご協力をいただき50年。仏教保育の基本である「やさしい心を育てる保育」を目指してまいりました。今後も地域に愛される保育園として、子どもたちの未来ある世界づくりをしてまいります。その一環として、「地球にやさしい記念事業、おひさまプロジェクト・保育園に発電所(ソーラーパネル設置)をつくらう!」を進めさせていただき、完成の運びとなりました。京都府の補助や皆様からのご寄付により設置させていただき、元気に自家発電が稼働を始めています。日々の節電はもちろん、災害時にもこの機能が稼働し、子どもたちや地域の方々にも役に立てればとも思っています。この活動に関わってくださったすべての皆様に感謝申し上げますとともに、子どもたちの笑顔が未来永劫続き、元気な地球が未来永劫続くことを願ってやみません。

社会福祉法人 光寿福祉会 安朱保育園 園長 嶋本 弘文



安朱保育園のみなさま、おひさま発電所の完成、おめでとうございます。安朱保育園では、以前からおひさま発電所に関心をお持ちいただいていたと伺います。創立50周年を迎えられる節目の年にそれが実現したこと、あらためてお祝い申し上げます。京都でも気候の異変が続いており、地球温暖化はその重要な原因、温室効果ガス削減は喫緊の課題となっております。地球温暖化防止には、生活習慣から見直していかなければなりません、大人と違い子どもたちは小さい時から、環境を意識した生活を過ごしていくことで、大人になっても環境に心を配るような生活を、一生にわたって続けていってくれることと思います。おひさま発電所がそのような生活づくりの一助となれば、私どもにとってこの上ない喜びでございます。安朱保育園のますますの発展をお祈りするとともに、おひさま発電所がますます広がりますように、努力したいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

認定NPO法人 きょうとグリーンファンド 理事長 松岡 憲司

発電所作りスタート!

安朱保育園おひさま発電所 計画始動!



安朱保育園開園50周年記念事業として「地球にやさしい! おひさまプロジェクト」がスタートしました。



環境腹話術



おひさま発電所がある保育園で人気の「シンちゃん」、腹話術師ハタさんと一緒に安朱保育園にも来てくれました。地球温暖化って? CO2がふえるのはなぜ? 難しい話もハタさんとシンちゃんの名コンビにかかれば、楽しく理解できます。

チラシ配布



寄付を呼びかける「地球にやさしい! おひさまプロジェクト」のチラシ、子どもたちの笑顔がいっぱいです。「どんな地球をこの子たちに引き継げるのか」私たち大人の宿題です。

設置工事



12月の寒中、設置工が進みます。みんなの思いのこもった太陽光パネル、大切に設置してくださいね。

点灯式

いよいよ今日は、おひさま発電所のお披露目です。



寄付していただいた方、支援していただいた方々、続々と集まってくださいました。



「今日はおひさま発電所のお披露目、みんなにはちょっと難しいけど、先生が一番喜んでくれるよ。」と、ニコニコ顔で子どもたちに語りかける園長先生。



紙芝居「おひさま ありがとう」を保育士さんが演じてくれました。「わーっ、電気も作れるなんて、おひさまありがとう!」



子どもたちがスイッチオンすると、花御堂が輝きました。

点灯

エコ宣言



「ぼくたち、私たちは、電気を大事に使います。」かわいい声で堂々のエコ宣言!

お祝いの歌



♪世界中の子どもたちがいちどに笑ったら、空も笑うだろう♪ 子どもたちの歌声に参加者一同、思わず笑顔に……。

発電所看板・絵本贈呈



きょうとグリーンファンドから、おひさま発電所の看板となる板と「おひさま、みつめた!」の絵本を贈りました。おひさまの恵みで育つ木はCO2の塊でもありません。絵本は楽しいしかがけがありますよ。

来賓ご祝辞



子どもたちが退場した後、あらためて、認定NPO法人きょうとグリーンファンド阿部副理事長より挨拶させていただきました。



京都市環境政策局地球環境・エネルギー担当局長 下間 健之様 「園児たちの姿にも癒されると同時に、現在に生きる大人の責任をあらためて痛感。おひさま発電が、園児たちの豊かな育ち、学びの中にかき立てていくことを願ってやみません……」

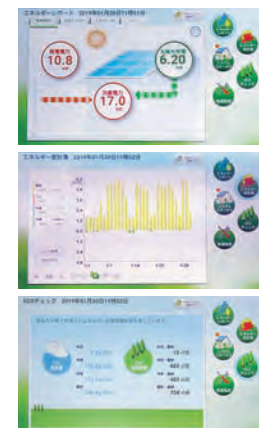


京都府環境部エネルギー政策課北部地域エネルギー資源戦略担当課長 北村哲也様 「実際の保育所での導入事例を見せて頂き、こちらも大きな広がりを感じたところです……」

ミニ講座 「なぜ今、おひさま発電所?」 太陽光発電設備見学



お話は、京都府地球温暖化防止活動推進センター木原さん。2050年9月の天気予報は? 「気温35℃、真夏日は50日続き、熱中症により6,500人が死亡。紅葉の見頃はクリスマス頃……」CO2の排出を削減しなければ、こんな2050年がやって来るとも知れませんが、今が分かれ目です。私たちができる対策を真剣に考えなくては……。みんなで作る「おひさま発電所」が一つの答えとなりますように。



太陽光パネルの発電量、CO2の削減量などが分かる表示モニターがついています。



子どもたちが遊んでいる上に見えるのが、設置された36枚の太陽光パネル。子どもたちが大きくなっても、変わらず電気を作り続けてくれるはずですよ。



「太陽光が発電した電気は直流」それを「家庭などで使う交流」にするパワーコンディショナです。



青空の下、子どもたちと一緒に笑顔でバンザイ!!!

事業の概要

この事業は、社会福祉法人光寿福祉会 安朱保育園と認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市山科区にある安朱保育園に、市民共同で太陽光発電設備と EMS（エネルギーマネジメントシステム）を設置したものです。費用は、市民・団体からの寄付、きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」、社会福祉法人光寿福祉会 安朱保育園の資金（京都市再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金を含む）でまかないました。設置後は、安朱保育園が環境に配慮した施設となるよう、きょうとグリーンファンドも協力して環境学習を進めていきます。

後援 京都府、京都市、京都府地球温暖化防止活動推進センター、特定非営利活動法人 KES 環境機構、
京のアジェンダ 21 フォーラム、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンター指定管理者）、
KGPN（旧京都グリーン購入ネットワーク）

協力 認定 NPO 法人気候ネットワーク、認定 NPO 法人環境市民、有限会社ひのでやエコライフ研究所

導入する設備 シリコン系 太陽光発電設備（10kW 規模）、EMS（エネルギーマネジメントシステム）

発電所データ

設置場所：社会福祉法人 光寿福祉会 安朱保育園

設置日：2019 年 1 月 30 日

発電能力：9,720W

発電量：約 9,400kWh / 年

総事業費：約 376 万円

寄付額：62.4 万円（109 件）

寄付募集期間：2018 年 10 月 20 日～2019 年 2 月 15 日

社会福祉法人 光寿福祉会 安朱保育園

昭和 44 年（1969 年）4 月に「安朱保育園」として開園以来 50 年、多くの地域の皆様にご支援・ご協力を頂き、この時を迎えることができました。多くの皆様のお力添えのおかげと感謝いたしております。仏教保育の理念「やさしい心を育てる」保育を目指してまいりました。今後ますます地域に愛される保育園として、子どもたちの未来ある世界づくりをしてまいります。子どもたちの笑顔が未来永劫続きますように！

特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の社会と暮らしをめざし、再生可能エネルギーの普及に取り組んできました。寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かし、多くの方々と協力して、環境に配慮した地域づくりの拠点となる「おひさま発電所」を広げていきたいと、これからも活動を続けていきます。2018 年 10 月までに 22 カ所のおひさま発電所が出来ました。

おひさまでんきプロジェクト～あなたの電気代からおひさま発電所がうまれます！

「必要なエネルギーは、太陽光や風力などの再生可能エネルギー（再エネ）で 100%まかなう社会をめざそう」という想いから、認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドと太陽ガスグループ（新電力会社）がはじめた共同プロジェクトです。太陽ガス（関西地区代理店 Happy Energy）に毎月支払う電気代の一部が、おひさま発電所設置のために還元される仕組みです。再エネ 100%をめざす電力会社から電気を買うことで、さらにおひさま発電所を増やしていきましょう！

●このプロジェクトは、「おひさまでんきプロジェクト」のひとつとして、太陽ガスグループが応援しました。



社会福祉法人 光寿福祉会 安朱保育園

〒607-8009 京都市山科区安朱北屋敷町 9 番地

TEL：075-581-1312

FAX：075-581-1412

URL：http://www.anshu.or.jp

特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）

きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町 21 番地
事務機のウエダビル 206

TEL/FAX：075-352-9150

E-mail：info@kyoto-gf.org

URL：http://www.kyoto-gf.org

この印刷物は
自然エネルギー
（太陽光）を
活用して
印刷しました。

